令和元年度埼玉の子ども 70 万人体験活動

みかりば

## 狭山市立御狩場小学校



特色

狭山市では東日本大震災より宮城県気仙沼にゆかりの深い「気仙沼とともに歩む会」という企業団体が約8年間気仙沼と狭山の子供たちとの交流を続けてきた。本校では平成30年度より「未来の日本を創る仲間」として気仙沼市立鹿折小学校と6年生同士の学校間交流を実施している。ビデオや紙面での地域の文化・自然・産業の紹介や未来への夢の伝え合い等を実施。総合的な学習の時間では狭山茶の「みかりばプレンド」を作って地域を紹介する。

児童の感想

社会科の教科書にも出ている遠く離れた気仙沼の小学生と交流できることはとても嬉しい。住む地域が違っても同じ6年生として仲間のような気持ちになれる。〇親戚が宮城県なので家族で行ってみようということになり鹿折小の校門まで行ってみた。

成果

翌年には互いに中学生、という6年生同士の交流は、ビデオレターの地域紹介も手紙の作成も、「距離を超えたつながり」という手ごたえがある。将来、どこでどんな形で巡り合うかもわからない仲間同士の市や県の枠を超えた有意義な体験学習である。